

一般社団法人 全日本建設技術協会

会長 大石 久和

印省略

### 第643回建設技術講習会（これからの社会インフラの維持管理・更新）の 開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約6万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした一般社団法人です。

本講習会では、道路、河川、港湾、都市・地域整備等の各部門別の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからの社会インフラの維持管理・更新、現場の生産性を高め、働き方改革を進めるためのi-Constructionの取り組み、AIやロボットなど新技術を活用した公共事業、公共工事の品質確保と入札契約の適正化、災害復旧、工事積算における動向と工事施工における合理化と安全対策など、建設事業の実施にあたって特に重要な課題を取り上げることとしております。また、講師には建設行政や建設技術等の各分野において造詣が深い方を迎え、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっています。

このたびの第643回建設技術講習会では、維持管理・更新における今後の取り組みについて（メンテナンス技術者の育成・確保）、各分野（河川、道路、下水道、住宅、港湾）における維持管理・修繕の最新の取り組み事例について、公物管理を巡る紛争事例の動向とそれを踏まえた今後の留意点について、次世代社会インフラ用ロボットの開発・導入等について学ぶことを目的としています。

本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会  
会長 大石 久和  
印省略

## 第643回建設技術講習会（これからの社会インフラの維持管理・更新）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚く御礼申し上げます。

本協会では、平成30年8月29日(水)～31日(金)、津市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、維持管理・更新における今後の取り組み（メンテナンス技術者の育成・確保）、各分野（河川、道路、下水道、住宅、港湾）における維持管理・修繕の最新の取り組み事例、公物管理を巡る紛争事例の動向とそれを踏まえた今後の留意点、次世代社会インフラ用ロボットの開発・導入について学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は三重県・津市の共催、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴講料：

区分	一般 (非会員)	会員		
		正会員	特別会員	賛助会員
通常料金	18,400円	13,400円	13,400円	13,400円
三重県内の国・県に勤務	13,400円	2,000円	2,000円*	—
三重県内の市町村に勤務	2,000円	0円	—	—
中部地区連合会管内の市町村に勤務	18,400円	2,000円	—	—
30歳未満	18,400円	2,000円	—	—
学生	0円	—	—	—

\*特別会員は、開催県内勤務または在住の者

※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。

※聴講のみの参加は可能です。 ※昼食の斡旋はありません。

※割引価格（2,000円）で参加の場合、取り消しはできません。

※平成30年度より「地区連割」を実施しています。（※政令市職員は除く）

③現場研修料：7,900円〔うち昼食代1,200円〕 ※現場研修のみの参加はできません。

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の控え〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。  
※会場でのお支払い等のご遠慮願います。

⑤申込書送付先：(一社)全日本建設技術協会 事業課 Mail: [kensyu@zenken.com](mailto:kensyu@zenken.com)  
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F  
TEL: 03-3585-4546 FAX: 03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142  
口座名義：シャ) ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ  
※必ず、お振込人名義(協会名)の前に、開催回数「643」をつけ加えて下さい。  
※振込手数料はご負担願います。

⑦申込締切日：平成30年8月7日(火) 必着(締切日以降に到着したものは受理できない場合があります)

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

①	平成30年8月17日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	平成30年8月24日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
	上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。  
※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

本講習会は「全建CPD(継続教育)制度」及び「CPDS(申請中)」の認定講習会です。  
【聴講/現場】全建：8.5単位/2.75単位、CPDS：未定/2ユニット

講習会情報については全建ホームページもご覧下さい。 <http://www.zenken.com/>

## 第643回建設技術講習会（これからの社会インフラの維持管理・更新）日程 ～社会資本の戦略的な維持管理・更新における最新の施策及び取り組み事例と公物管理を巡る紛争事例を学ぶ～

- ・維持管理・更新における今後の取り組みについて（メンテナンス技術者の育成・確保）
- ・各分野（河川、道路、下水道、住宅、港湾）における維持管理・修繕の最新の取り組み事例について
- ・公物管理を巡る紛争事例の動向とそれを踏まえた今後の留意点について
- ・次世代社会インフラ用ロボットの開発・導入について

会場 …… 津リージョンプラザ（お城ホール）  
〒514-8611 津市西丸之内23-1 TEL059-229-3300(代)

(1日目) 開場11:40	平成30年8月29日(水)	(敬称略)
12:40 } あいさつ 13:00	三重県知事 津市長 (一社)全日本建設技術協会 参事	鈴木英敬 前葉泰幸 加本実
13:00 } インフラメンテナンスの時代について 14:30	国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 事業総括調整官	鈴木学
14:40 } 公共事業紛争の判例と動向 15:40	扶桑共栄法律事務所 弁護士	細見孝二
15:50 } 【地域事業の紹介①】 国道475号東海環状自動車道について 16:20 ～三重県区間の整備と効果～	国土交通省中部地方整備局 北勢国道事務所 所長	永田耕之
16:20 } 【地域事業の紹介②】 新名神高速道路の事業進捗について 16:50	中日本高速道路(株)名古屋支社 四日市工事事務所 所長	落合孝朗
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 ＜希望者のみ＞（18:00～19:30(予定)）		さくら情緒食堂（三重県教育文化会館1階） TEL059-228-2221
(2日目) 開場 9:00	8月30日(木)	(敬称略)
9:40 } 公営住宅における維持管理・修繕の最新の取り組み 10:40 について	国土交通省住宅局住宅総合整備課 企画専門官	谷山拓也
10:50 } 港湾事業における維持管理・修繕の最新の取り組み 11:50 について	国土交通省港湾局技術企画課 港湾保全政策室 室長	藤田亨
13:00 } 下水道における最新のアセットマネジメントについて 14:00	国土交通省水管理・国土保全局下水道部 下水道事業課事業マネジメント推進室 室長	石井宏幸
14:10 } 河川事業における維持管理・修繕の最新の取り組み 15:10 について	国土交通省水管理・国土保全局河川環境課 河川保全企画室 室長	齊藤博之
15:20 } 道路事業における維持管理・修繕の最新の取り組み 16:20 について	国土交通省路局国道・技術課 道路メンテナンス企画調整室 企画専門官	森下博之
16:20 } 閉会のあいさつ	三重県建設技術協会長 (三重県土整備部 副部長)	真弓明光
(3日目) 集合 8:00～	8月31日(金) 【現場研修】	

**JR津駅東口(8:30) 出発**

- 東海環状自動車道 大安IC建設事業（下車説明）      → 新名神高速道路 菟野第一高架橋（下車説明）
- 昼食（亀山市内）      → 志登茂川浄化センター（下車説明）
- JR津駅（15:40）着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。  
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

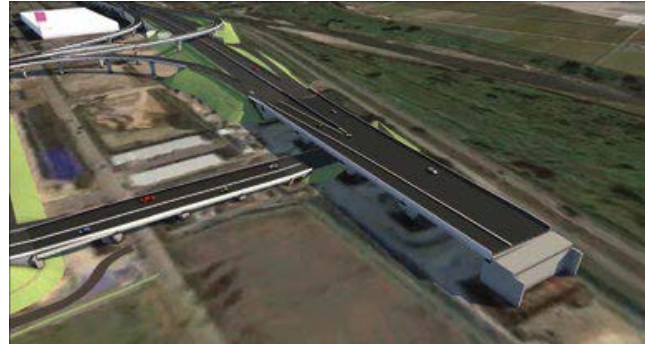
全建CPD（継続教育）制度・CPDS（予定）認定プログラム 【聴講/現場】全建：8.5単位/2.75単位、CPDS：未定/2ユニット

## 第643回建設技術講習会 現場研修事業の概要

### 1. 東海環状自動車道 大安 I C建設事業

- 東海環状自動車道は、我が国の重要幹線道路である東名高速道路、名神高速道路、中央自動車道、東海北陸自動車道及び東名阪自動車道を相互に連絡しながら環状を形成する名古屋都市圏の骨格道路。
- 大安 I C（仮称）では、平成30年度の供用に向け、盛土工や橋梁工事を施工中。
- 盛土工（ICT活用）では、マシンガイダンスを搭載したブルドーザ、バックホウ等を用いて施工することにより、建設現場での生産性向上に取り組んでいる。
- I Cに接続する高架橋は、工場製作の主桁を連結後、その上に工場製作のP C板を設置し、現場打ちコンクリートを打設するP Cコンポ橋を採用。品質が良く、施工期間の短縮、安全、建設コストが安くなるなどの特徴がある。

..... いなべ市大安町



### 2. 新名神高速道路 <sup>こもの</sup>菰野第一高架橋

- 新名神高速道路は、伊勢湾岸自動車道、新東名高速道路などと一体となり、近畿圏や中部圏、首都圏の3大主要都市圏を結ぶ新たな大動脈として日本経済を支える道路。
- 新四日市JCT～亀山西JCT（仮称）間について、平成30年度の供用を目指して整備が進められている。
- 菰野第一高架橋は、三重郡菰野町に建設される菰野 I C（仮称）に隣接し、普通河川鳥居戸川を渡河する9径間連続P C箱桁橋L=483.5m（下り8径間連続P C箱桁橋L=483.5m）を採用。
- 観光地である湯の山温泉への入り口に位置することなどから、景観検討を実施。橋脚及び上部工は、菰野という地名の語源ともなり地域に生息するマコモ（イネ科の植物）をモチーフとした形状を採用。
- 4車線として整備しているが、将来6車線への拡幅も考慮した設計となっている。

..... 三重郡菰野町



### 3. 志登茂川浄化センター

- 志登茂川浄化センターは、県都津市の中心街を含む津市北部地域の生活排水を処理。
- 平成30年4月1日に供用された最新の浄化センターで、省エネルギーの機器を導入し、維持管理費を低減。
- 閉鎖性水域である伊勢湾の富栄養化など水質汚濁を防ぐため、高度処理方式（凝集剤添加型ステップ流入式硝化脱窒法と急速ろ過法を併用）を採用。
- 工事計画区域が絶滅危惧種の昆虫「カワラハンミョウ」の生息地であることから、有識者と協議しながら自然環境に配慮した施設を設計。
- 管理棟等は耐震性・耐津波性を有しており、津市の津波避難ビルにも指定。

..... 津市白塚町



## 第643回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には津市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328  
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄  
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3～1日前(前日)		
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。  
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

### 斡旋する宿舎名、宿泊料

平成30年8月28日(火)、29日(水)、30日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名	所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
ホテルグリーンパーク津	津市羽所町700 TEL059-213-2111	シングル	40名	7,580円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

### 案内図

広域図



津駅(交流会会場)周辺



津新町駅(講習会会場)周辺



## 第643回建設技術講習会に参加の皆様へ！ 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、技術者の連携・交流を図るため「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の情報交換・意見交換や交流の場として活用し、また講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

**日時** : 平成30年8月29日(水) 18:00~19:30(予定)  
(第643回建設技術講習会 1日目講義終了後)

**場所** : さくら情緒食堂

**会費** : 2,000円(講習会受付時に徴収)

- ※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。
- ※この交流会は会費制です。
- ※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。
- ※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。
- ※開催場所・時間等が変更になる場合があります。その際は講習会場にてご案内いたします。
- ※服装については特に問いません。



### 【交流会・意見交換会に参加予定の講師】

- ・ 国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 事業総括調整官 鈴木 学 講師
- ・ 扶桑共栄法律事務所 弁護士 細見 孝二 講師
- ・ 国土交通省港湾局技術企画課港湾保全政策室 室長 藤田 亨 講師
- ・ 国土交通省中部地方整備局北勢国道事務所 所長 永田 耕之 講師

※講師の都合により変更になる場合があります。



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
  - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
  - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
  - ①講師との交流
  - ②質疑応答など
3. 地元協会による催し(予定)
 

※都合により内容が変更になる場合があります。

<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当  
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 \_\_\_\_\_  
(特別・賛助会員名、会社名)

**第643回建設技術講習会（これからの社会インフラの維持管理・更新）申込書**

<個人情報の取扱いについて>  
申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別			現場研修	交流会	宿泊申込		
(フリガナ) 氏名 (女性は番号に○をつけて下さい)	年齢		一般 (非会員)	会員	正会員 30歳未満			予約日に○を記入して下さい		
							8月 28日	29日	30日	
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
<b>聴講料</b> ※一般/会員の確認をします。申込み区分を間違えないようにして下さい。 一般(非会員) 名×18,400円＝ 円 会員(正会員・特別会員・賛助会員) 名×13,400円＝ 円 正会員(30歳未満、地元及び地区連管内) 名×2,000円＝ 円 ※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」 ※正会員(地元)とは、開催県内に勤務する「正会員・特別会員」 及び開催地区連合会管内の市町村に勤務する「正会員」(賛助会員除く)						現場研修の昼食は不要の申し出はできません※	宿泊代金は、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。 禁煙・喫煙の希望がある場合には、「○禁」、「○喫」のように記入してください。			
<b>現場研修料</b> 名×7,900円＝ 円										
計						円				

↓全建に振込

**【お申込み時の注意について】**

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

**【お申込みについて】**

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までになるべくメール又は郵送にてお申込み下さい。

**【変更・取り消し・追加方法について】**

電話での受付はいたしません。また、30歳未満の正会員及び地元割引価格で参加の場合、キャンセルはできません。本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

**【聴講時の昼食について】**

昼食の斡旋はありません。

**【現場研修時の昼食について】**

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできませんのでご了承下さい。